

原市場聖書教会

週 報

NO. 1077

年間聖句

わたしはぶどうの木、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人にとどまっているなら、その人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないのです。

ヨハネの福音書 15章5節



2025. 11. 23

主日礼拝

2025年 11月 23日

礼拝奉仕者

説教：若村和仁師 司会：本多崇兄 奏楽：本多こずえ姉 献金：本多祐子姉
受付：若村めぐみ姉

ワーシップ賛美	「恵み Again」	—	同
祈り		司会者	
ワーシップ賛美	「走り続ける」	—	同
使徒信条		—	同
主の祈り		—	同
賛美	聖歌296番「主よささぐる」	—	同
献金		—	同
感謝の祈り		本多祐子姉	
聖書朗読	テサロニケ人への手紙第一4章1節～12節	司会者	
説教	「神のみこころとは何か？」	若村和仁師	
黙祷		奏楽者	
賛美	聖歌529番「ゆきてつげよあまねく」	—	同
頌栄	聖歌383番「ちち・みこ・みたまの」	—	同
祝祷		若村和仁師	
後奏		奏楽者	
報告		司会者	



●礼拝後自家焙煎コーヒータイムがあります。



「神のみこころとは何か？」

聖書 新改訳 2017©2017 新日本聖書刊行会より抜粋

メッセージ聖書箇所

テサロニケ人への手紙第一4章1節～12節

- 1, 最後に兄弟たち。主イエスにあってお願いし、また勧めます。あなたがたは、神に喜ばれるためにどのように歩むべきかを私たちから学び、現にそう歩んでいるのですから、ますますそうしてください。
- 2, 私たちが主イエスによって、どのような命令をあなたがたに与えたか、あなたがたは知っています。
- 3, 神のみこころは、あなたがたが聖なる者となることです。あなたがたが淫らな行いを避け、
- 4, 一人ひとりがわきまえて、自分のからだを聖なる尊いものとして保ち、
- 5, 神を知らない異邦人のように情欲におぼれず、
- 6, また、そのようなことで、兄弟を踏みつけたり欺いたりしないことです。私たちが前もってあなたがたに話し、厳しく警告しておいたように、主はこれらすべてのことについて罰を与える方だからです。
- 7, 神が私たちを召されたのは、汚れたことを行わせるためではなく、聖さにあずからせるためです。
- 8, ですから、この警告を拒む者は、人を拒むのではなく、あなたがたにご自分の聖霊を与えてくださる神を拒むのです。
- 9, 兄弟愛については、あなたがたに書き送る必要がありません。あなたがたこそ、互いに愛し合うことを神から教えられた人たちで、
- 10, マケドニア全土のすべての兄弟たちに対して、それを実行しているからです。兄弟たち、あなたがたに勧めます。ますます豊かにそれを行いなさい。
- 11, また、私たちが命じたように、落ち着いた生活をし、自分の仕事に励み、自分の手で働くことを名誉としなさい。
- 12, 外の人々に対して品位をもって歩み、だれの世話にもならず生活するためです。

今月のフォーシップ賛美

走り続ける

作詞・作曲 中山 告



使徒信条

キリスト教会の最古の信条で、普遍的に受け入れられ、告白される信条の一つです。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人の内よりよみがえり、
天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。
かしこよりきたりて生ける者と死にたる者とを審きたまわん。
我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、
聖徒の交わり、罪のゆるし、
からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。

アーメン

主の祈り

主の祈りは、イエス様が「こう祈りなさい」と教えてくださった祈りです。ですから、「主の祈り（しゅのいのり）」と呼ばれています。翻訳によって言葉づかいは異なりますが、新約聖書マタイによる福音書6章9節～13節に書いてあります。

天にまします われらの父よ
願わくは御名をあげさせたまえ
御国をきたらせたまえ みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ われらの日用の糧を
今日も与えたまえ われらに罪をおかすものを
われらがゆるすごとく われらの罪をもゆるしたまえ
われらを試みにあわせず 悪より救いいだしたまえ
国と力と栄えとは 限りなくなんじのものなればなり

アーメン

御言葉紹介

★ 2025 年 11 月 19 日（水）御言葉

マルコの福音書 10 章 46 ～ 52 節

46, さて、一行はエリコに着いた。そしてイエスが、弟子たちや多くの群衆と一緒にエリコを出て行かれると、ティマイの子のバルティマイという目の見えない物乞いが、道端に座っていた。

47, 彼は、ナザレのイエスがあられると聞いて、「ダビデの子のイエス様、私をあわれんでください」と叫び始めた。

48, 多くの人たちが彼を黙らせようとたしなめたが、「ダビデの子よ、私をあわれんでください」と、ますます叫んだ。

49, イエスは立ち止まって、「あの人を呼んで来なさい」と言われた。そこで、彼らはその目の見えない人を呼んで、「心配しないでよい。さあ、立ちなさい。あなたを呼んでおられる」と言った。

50, その人は上着を脱ぎ捨て、躍り上がってイエスのところに来た。

51, イエスは彼に言われた。「わたしに何をしてほしいのですか。」すると、その目の見えない人は言った。「先生、目が見えるようにしてください。」

52, そこでイエスは言われた。「さあ、行きなさい。あなたの信仰があなたを救いました。」すると、すぐに彼は見えるようになり、道を進むイエスについて行った。

聖書 新改訳 2017 © 2017 新日本聖書刊行会より引用。

●この聖書の箇所を3つのポイントから見ていきます。

① 正直に助けを求める信仰 — バルティマイは叫び続けた。

※正直な求めに答えてくださるイエス様。

バルティマイという目の見えない物乞いの人は、ナザレのイエスが近くを通られると聞くと、「ダビデの子イエス様、私をあわれんでください」と叫び続けました。

・ここで大切なポイントは、人の評価や反応よりも「イエス様に助けを求めること」を優先したということです。

・この叫びに対して、群衆の対応はどうだったでしょうか。

彼をたしなめ、黙らせようとしてました。

・しかし、イエス様はどうされたでしょうか。

立ち止まり、「あの人を呼んで来なさい」と言われたのです。

私たちはバルティマイのようにまっすぐイエス様に助けを求めているでしょうか？イエス様はまっすぐに助けを求める者の声をしっかり聞いて下さる方なのです。

② 自分の願いを言葉にする信仰の大切さ！

イエス様はバルティマイに、「何をしてほしいのですか」と問いかけられました。

イエス様は彼の願いをすでにご存じだったはずですが、しかしあえて、彼が自分の口で願いを告白するように導かれました。

すると彼は、率直に「目が見えるようになることです」とはっきり答えました。

イエス様は、「さあ、行きなさい。あなたの信仰があなたを救いました」と言われ、バルティマイはすぐに見えるようになったのです。

私たちは日々自分の思いをまっすぐ神様に告白し祈っているか？確認するものでありたいです。

③ 開かれた目でイエスに従う信仰 — 受けた恵みに応答する大切さ。

目が見えるようになったバルティマイは、そのままイエス様に従って行きました。

当時のユダヤ人たちは、「自分たちこそ神の民であり、霊的にも見えている」と自負していました。しかし実際には、心の目は閉ざされ、旧約聖書が語り続けてきた救い主イエス・キリストを見ていなかったのです。

一方バルティマイは、「自分は見ていません」と正直に神様の前に出ることができました。その結果、「見える者」へと変えられたのです。

私たちは、「目が見えるようになることです」と素直に主に日々求めているでしょうか。

また、私たちの心の目は本当に神様をしっかりと見ているでしょうか。

閉ざされた目ではなく、まっすぐに神様を見上げる目へと変えてくださいと、日々祈り求める者でありたいのです。

原市場聖書教会
若村和仁

報 告

★聖書を学びたい方、洗礼を希望される方はお気軽に牧師にご相談ください。

●いよいよ明日11月24日（月）は今年もオープンチャーチです。
本日奉仕の打ち合わせができればと思います。

●本日11月23日（日）はオープンチャーチの準備兼、教会大掃除を行います。
奉仕できる方ぜひご協力いただけましたら感謝です。

●12月13日（土）「飯能日高市民クリスマスコンサート」飯能市民会館小ホールにて。
詳しくはチラシをご覧ください。クワイアーまだまだ募集中です。

●12月14日（日）14時～16時「子どもクリスマス会」です。

☆若村和仁師 今週の外部奉仕&予定

- ・11月25日（火）～11月28日（金） NPO 法人あまやどり （場所：高麗&原市場）
- ・11月27日（木）午前、午後 駿河台大学 cafe 講師 （場所：駿河台大学）
- ・11月27日（木）夜 hi-b.a. 川越集会 （場所：ウェスタ川越）
- ・11月29日（土）午前、夜 キッズウォーク、星を見る会 （場所：原市場小学校）

本日午後の予定

- ★礼拝後コーヒータイム、昼食会があります。ご自由にお交わり下さい。
- ★昼食終わり次第、大掃除&オープンチャーチ準備の時を持ちます。

次週主日礼拝（11月30日）

司 会：若村和仁師
 聖 書：テサロニケ人への手紙第一4章13節～18節
 説 教：「キリストの死と復活が与える確かな希望」若村和仁師
 奏 楽：本多こずえ姉
 讃 美：ワーシップ賛美「夢見人（ドリーマー）」「走り続ける」
 聖歌404、聖歌528、聖歌383
 受 付：若村めぐみ姉 献金感謝祈祷：渡辺恵姉

先週の各集会出席者数

		子供	男性	女性	合計
11月16日（日）	教会学校ハレルヤキッズ	6人			
	礼 拝	6+0人	5+2人	10+5人	28(21+7)人
		（※各集会「対面+オンライン」表記となります。）			
	夕 礼 拝		希望者がおられませんでした。		
11月19日（水）	祈 り 会	0人	2人	4人	6人

集会案内

11月25日（火）	今週の火曜日集会はありません。				
11月26日（水）	祈 り 会				10:30～12:00
11月30日（日）	ハレルヤキッズ				9:30～10:10
	礼 拝				10:30～12:00
	クリスマスクワイ練習会				14:00～16:00

頌 栄

聖歌383

「ちち・みこ・みたまの」

To Father, Son, and Holy Ghost
Tate and Brady, c. 1200 (C/N)

ORIGINAL
THOMAS HASTINGS, 1877



埼玉県飯能市下赤工 396-6 tel:042-977-0254
<http://hbc.holy.jp/>

教会ホームページ <http://hbc.holy.jp/> Eメール hibawaka@aol.com

❖ 集会案内 ❖

主 日 礼 拝	日曜あさ	10:30-12:00
ハレルヤキッス	日曜あさ	9:30-10:10
夕拝(第一は休み)	日曜夕方	17:00-18:00
祈 り 会	水曜	10:30-12:00
赤毛のアソ	第2第4火曜日	10:00-13:00
こひつじタイム	第1第3火曜日	10:30-12:00
ハレルヤキッス スペシャル	ひと月一回(日曜か土曜日)	14:00-16:00



原市場聖書教会

〒357-0126 飯能市下赤工 396-6

TEL:042-977-0254

FAX:042-981-7200

牧 師: 若村和仁